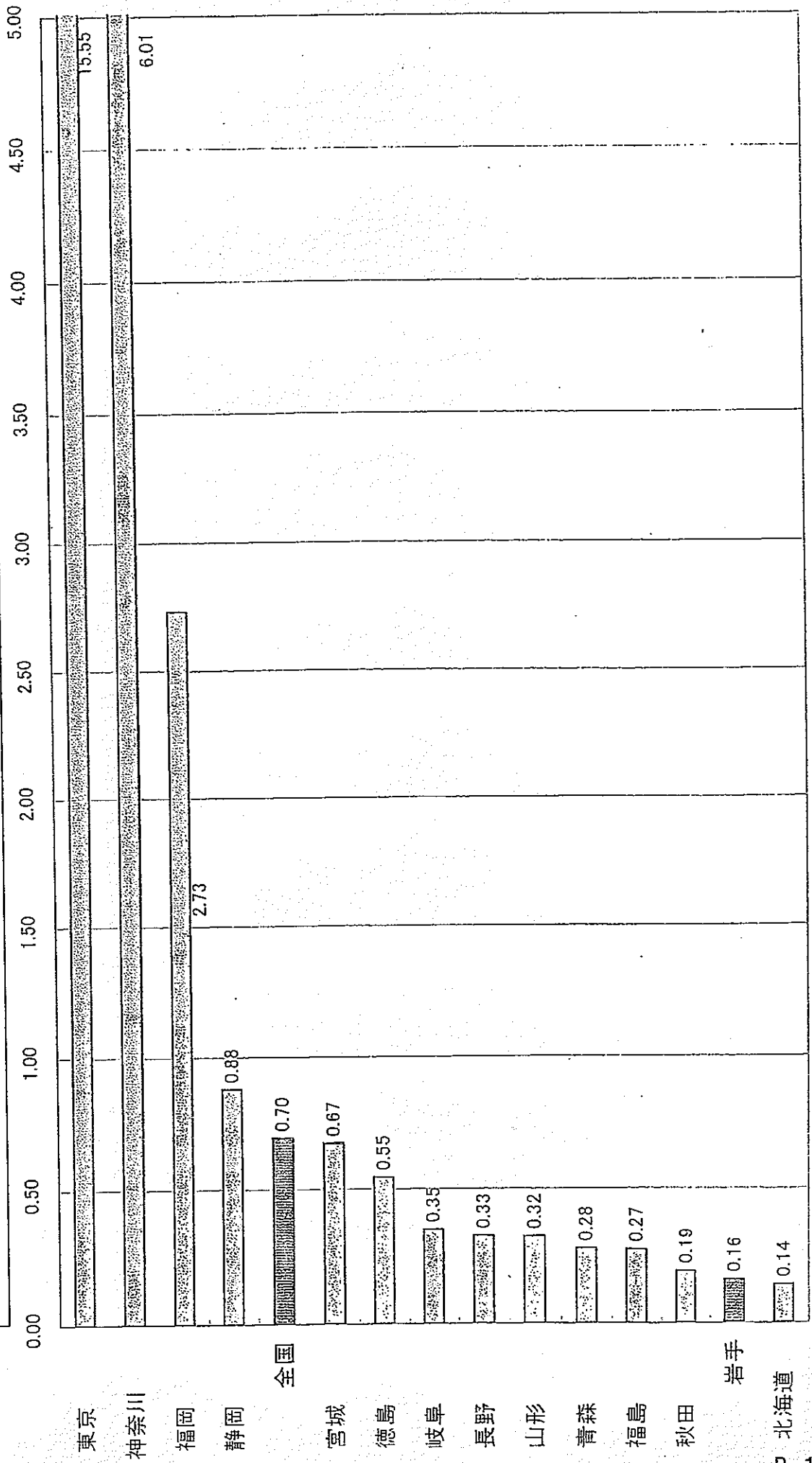
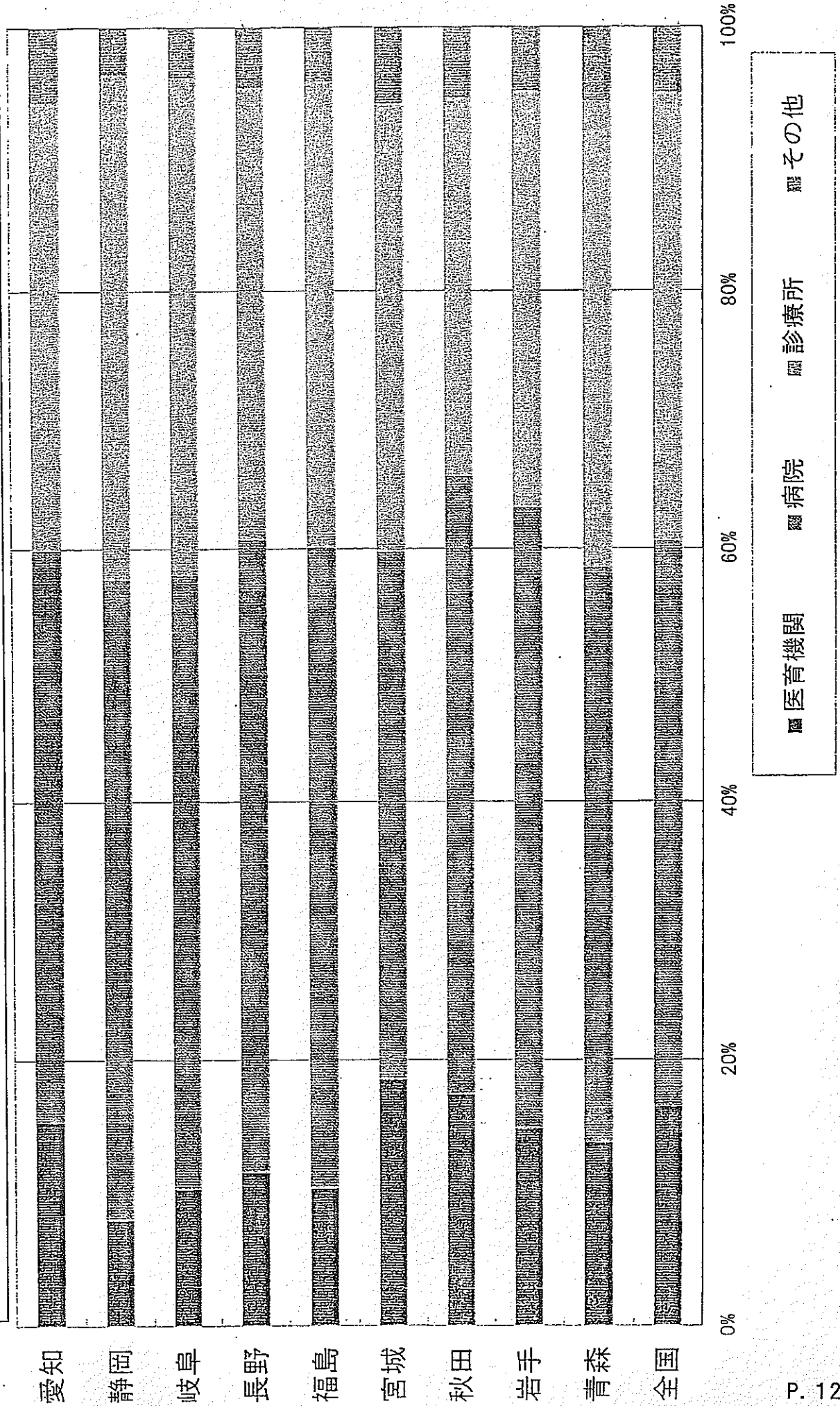


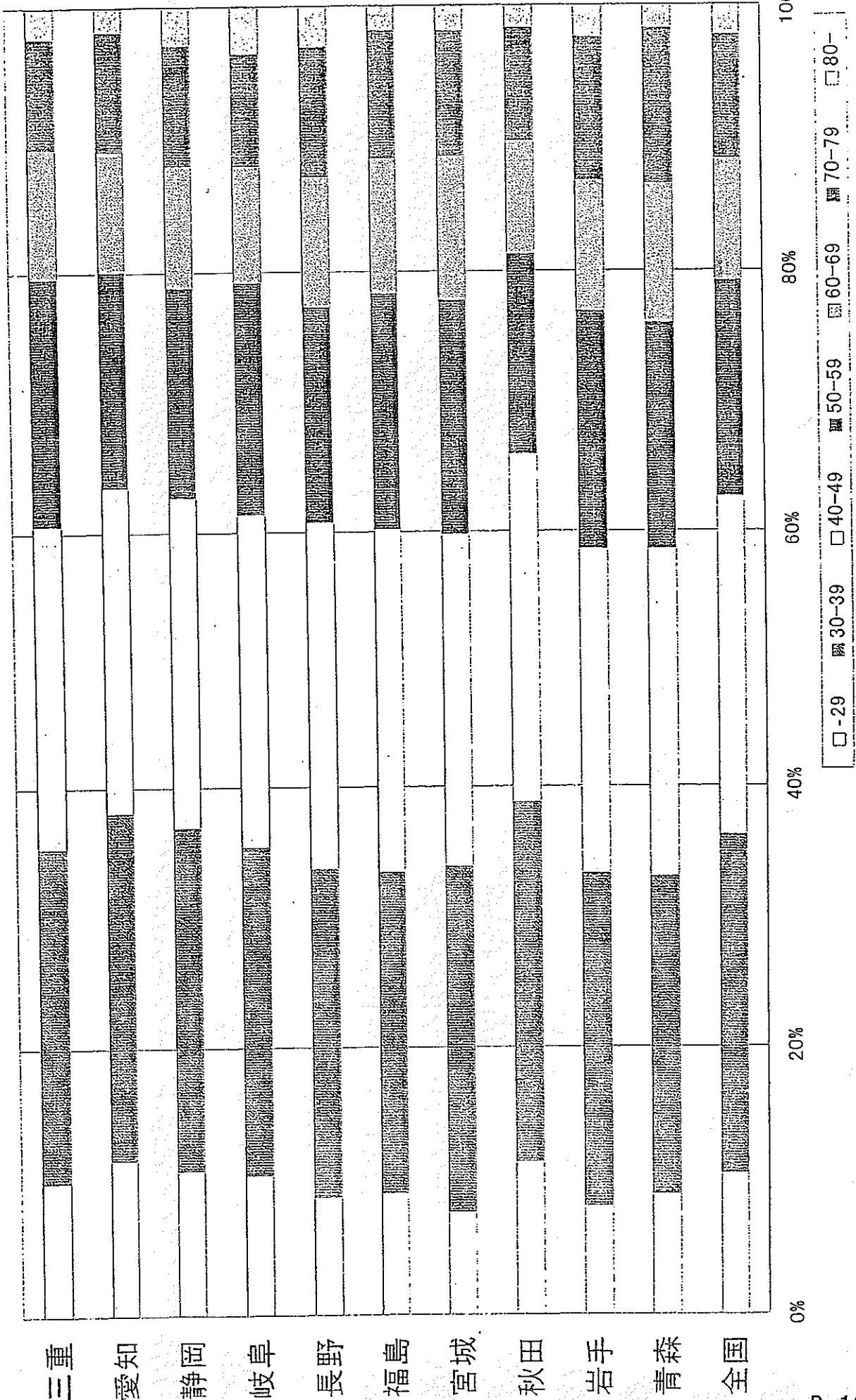
○ 医師密度 (医師数 : H14. 12. 31現在)
 → 面積あたりの医師密度は低く、東京の約100分の1 = 1 医療機関の医療圏が広い
 → 他地域からの医師の応援が得られにくく、医師の負担が大きい



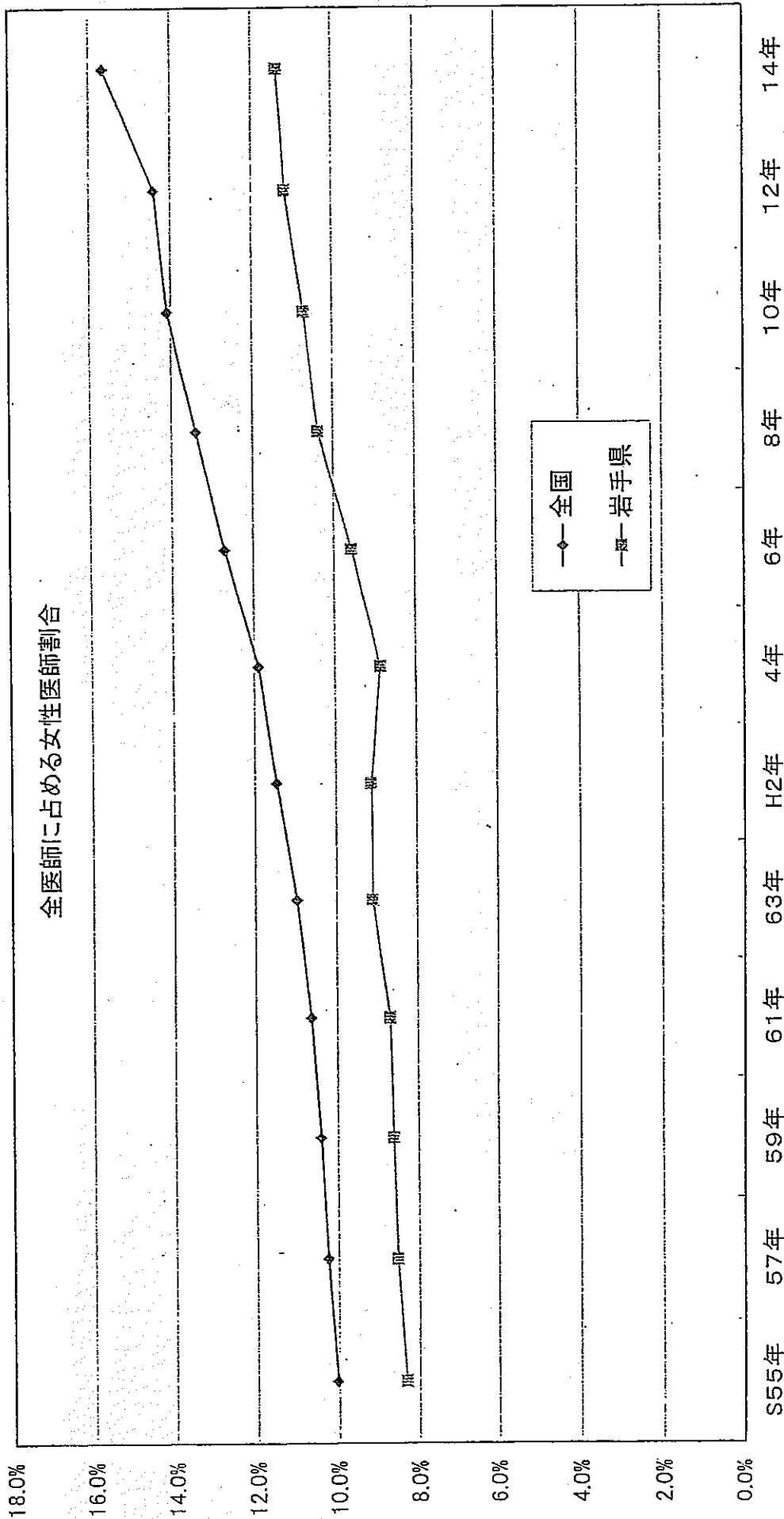
○ 各県医師の業務の種別分布 (平成14年12月31日現在)
 → 就業別分布は全国や他県とほぼ等しい＝勤務医、開業医とも不足している



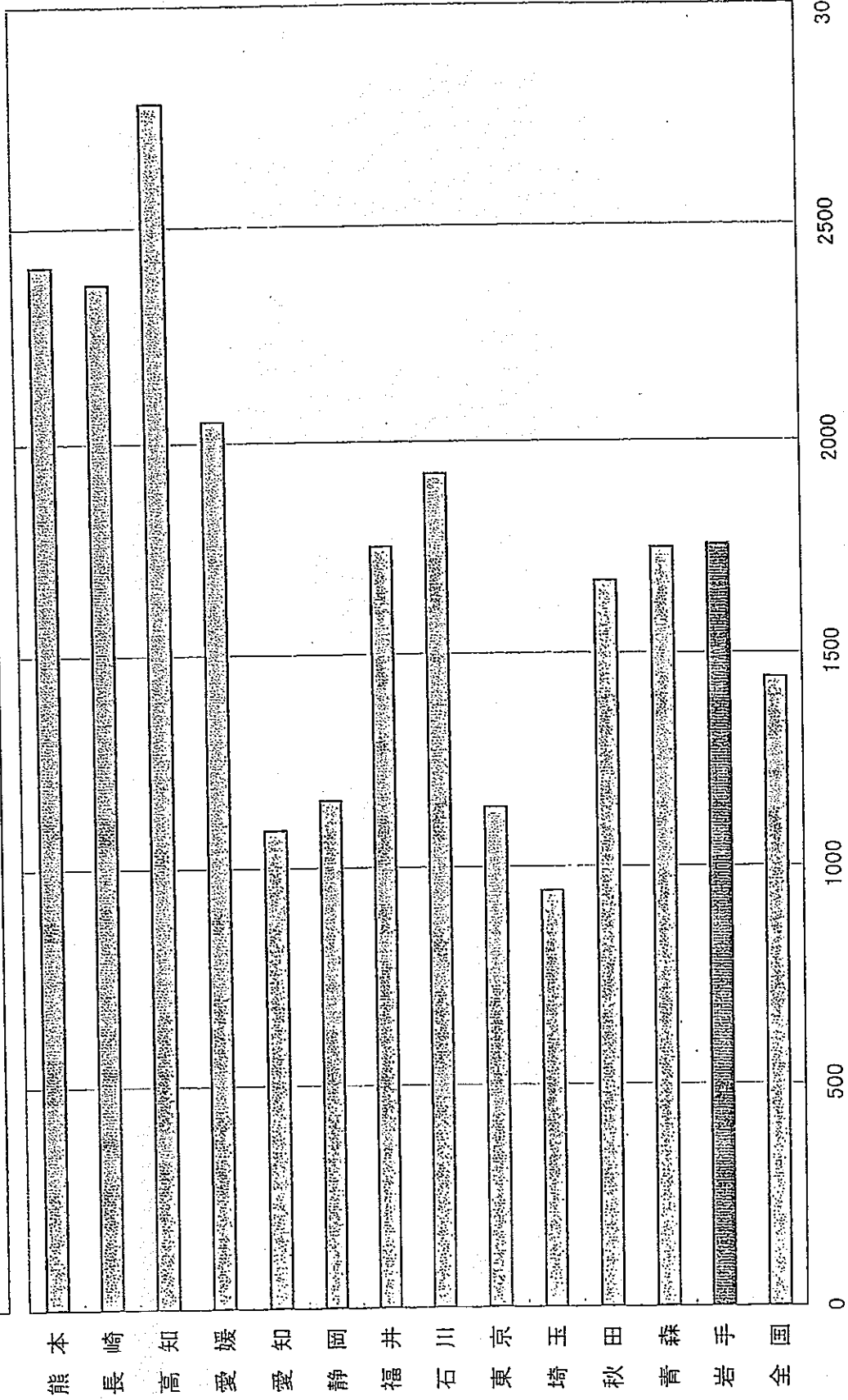
○ 各県医師年齢階級別分布（平成14年医師、歯科医師、薬剤師調査）
 → 他県と比較し、70歳以上の医師の割合が高く、39歳以下の割合が低い。



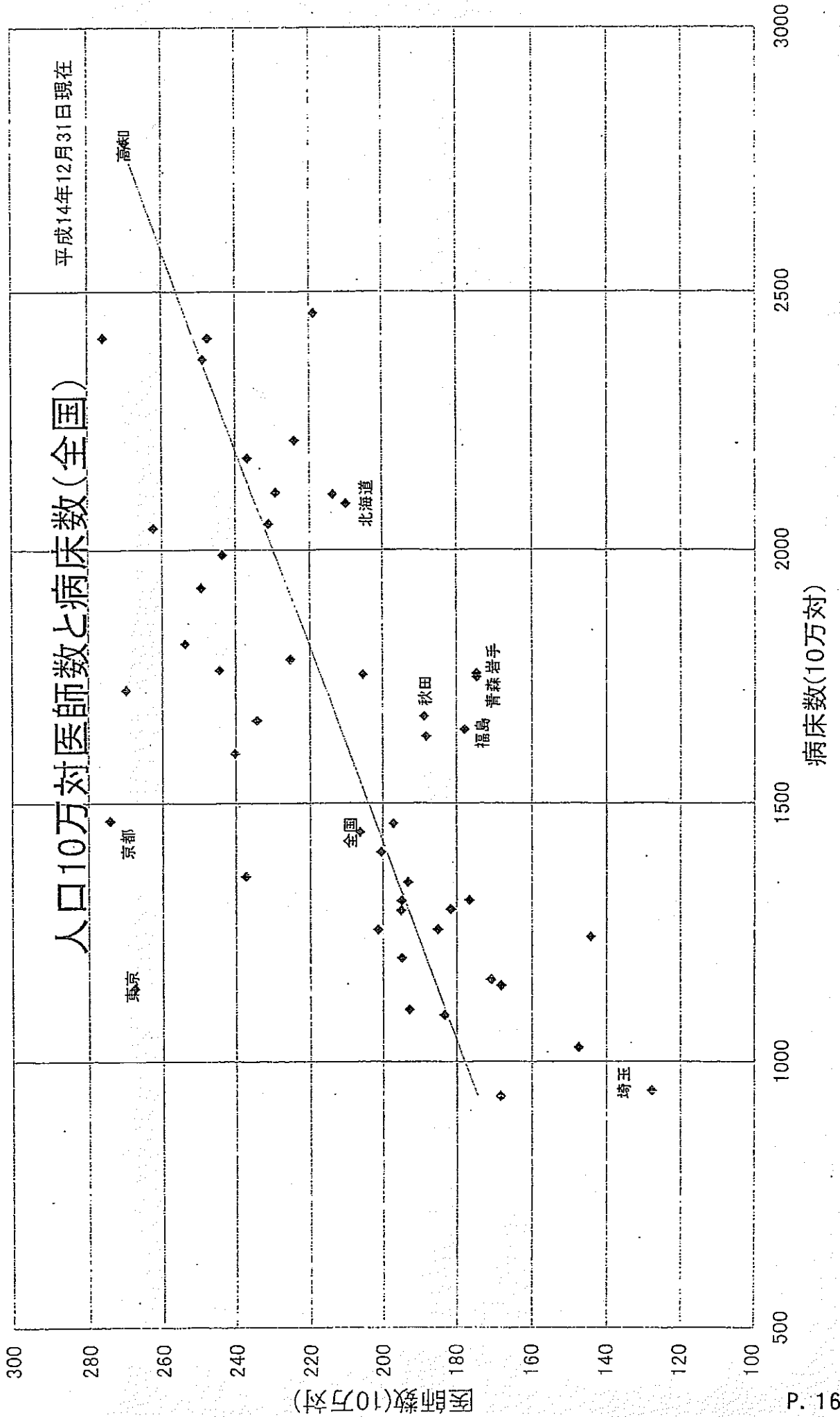
○ 全医師に占める女性医師割合（医師、歯科医師、薬剤師調査）
 → 女性比率は増加しているが、全国平均と比較すると伸び率は低い



○ 人口10万当たり病床数 → 全国平均よりやや多い。



○ 人口10万対医師数と病床数(全国)
 → 病床あたりの医師数をみると全国との差がさらに拡大



○ 一般病院の病床規模別内訳 (東北6県等)
 → 全国と比較し1000床から4000床規模の中規模病院が多い
 → 診療科あたりの従事する医師が少ないため、医師の負担感が大きいことが予想される

